

CONTENTS

特集

- 04 帰ってきた gomidas
- 06 平成24年度広島県石油コンビナート等総合防災訓練報告
- 08 火災の予防と防火対象物

02 カメラスケッチ

- 13 見守りサービス／大竹市の土地分譲
- 14 小学校閉校
- 19 広島弁護士会シンポジウム
- 20 市役所組織の一部を変更します
- 22 医療費適正化
- 24 募集 保健師・栄養士／子ども予防接種週間
- 26 国保通信
- 28 市奨学生募集／小中連携・小中一貫だより
- 30 広告募集
- 32 市営住宅の維持管理方法が変わります／シリーズ
- 34 みんなで考えよう公共交通／生涯学習講座
- 36 勤労青少年ホーム／総合市民会館まつり
- 38 ジュニアリーダー育成事業活動報告／としょかんだより
- 40 情報ステーション つどいの広場／親と子の本の広場／子育て／健康／福祉／講座／催し／募集／お知らせアラカルト／先どり情報ステーション
- 47 おおたけ再発見／広告
- 48 はじめまして／大竹女声合唱団演奏会

今月の表紙

手作りたこあげ大会



表紙の写真は、2月3日に晴海臨海公園で行われた、手作りたこあげ大会の様子です。

当日は、思い思いに作ったたこを風に乗せようと、子どもたちが広い公園の中を元気に走り、空高くたこを揚げていました。

伝統行事を支える力

大瀧神社氏子会館

まだ春の足音が聞こえてこない1月18日、青少年育成市民会議のメンバーが、3月3日(日)に行われるひな流しのため、ひなの頭作りを行った。当日は朝から作業を始め、参加したメンバー15人で、2,000個の頭を完成させた。頭作りを指導していた泉須美子さんは、「ひな流しは、やさしい心を育てる行事。これからもずっと伝えていきたい」と話していた。



(上)ひなの頭を作る青少年育成市民会議のメンバー。

1/18



(左)完成したひなの頭。男びなと女びなの頭が交互に並ぶ。



(上)紙粘土で作った頭に、つまようじを刺していく。男びなは烏帽子にするため、つまようじが少し出るようにする。

カキのベストシーズン 大竹からスタート

晴海臨海公園

県西部で行われるカキ水産まつりでは最も早い開催となる、おおたけカキ水産まつりが、1月27日に晴海臨海公園で行われた。当日は市内外から約20,000人が訪れ、旬の味を楽しんだ。また、ステージでは太鼓演奏や神楽、カープ選手によるトークショーなどがあり、会場を盛り上げていた。

1/27



(左)焼きたて、アツアツのカキをフーフー。

(左)旬のカキの味を堪能しようと、焼きカキの前には長蛇の列ができた。(下)谷和神楽団による勇壮な演舞。

